

平成 27 年 10 月 7 日

深谷市議会議員各位

アウトレットへの 50 億円税金投入の是非を
住民投票で問う深谷市民の会（略称 住民投票の会）
共同代表 岡野 一好
中島 百々代
中村 照芳

貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また日頃は、深谷市発展、市民の福祉向上に真剣に取り組んでいただき、感謝とお礼を申し上げます。

さて、私たち一同はこのたび「アウトレットへの 50 億円税金投入の是非を住民投票で問う深谷市民の会」を立ち上げ、花園インターチェンジ拠点整備プロジェクト及びこれに係る市費の支出については市民の住民投票で方向性を決めることが現在のところ最も望ましいとの思いで活動しているところでございます。

その主張理由は設立趣意書やパンフレットなどで述べているとおりであり、背景理由としては以下の 2 点です。

- ① 市長は自身 2 度目の選挙において、36 億円の投入による本計画を公約として挙げられたものの、対立候補と争点化せず行われ、今やその投入額は 50 億円となり、公約の内容から大きく増加させており、市民の民意を反映させているとは言い難いこと。
- ② 現在のところ、市民や市議会に対しても、その適否を判断するに必要な内容を市が公開していないため、議会においては後述のとおり議論は疑問を残さざるを得ないまま核心に届かず、その賛否は混在し議会の意思が収れんされずにいること。予算案の議決はあったものの、私たちの主張は本計画を民間主体の計画に戻そうというもので、三菱地所サイモン株式会社と再協議して歳入補正すれば済むべきものであること。

以上のとおり、私たちはアウトレット誘致そのものに反対ではなく、本来民間資金で行われるべきものに 50 億円という多額の税金を投入するという計画は市民の意思を問うべきだと考えています。

また、住民投票条例の制定は市議会の議決を経て決定されるものであり、議員各位におかれましては私たちの署名活動の結果、所定の数を上回る市民の署名が収集された上は、本条例案にご賛成いただきますよう、心からお願い申し上げます。

その際、議会に向けた疑問解消のための要望とお願いがございます。

- ① 経過が示すように、本計画は当初は税金投入のない民間計画としてスタートしたはずですが、農地転用のため駅設置に踏みだしてから、税投入計画に変更されました。その変更理由は何故か。変更プロセスはどうだったか。

公募前のスタート時から三菱地所サイモン（株）（当時はチェルシー J）のプレミアムアウトレットの進出でありながら、市とアウトレット会社は、市民と市議会に対してオープンに費用負担協議を行わず、何故、公募採用で多額な税投入という手法を用いたのでしょうか。

- ② 深谷市は50億円を7年程度で回収するとしていますが、その回収のための収入科目は、交付税、固定資産税、土地転貸差益となっています。しかし、その内容を議会に知らせていません。例えば固定資産税の見積もりの根拠となる建物等の評価額はいくらと考えているのでしょうか。また、50億円を他の目的で起債して市民生活に使用し、アウトレットは当初スタートしたように民間計画に立ち戻ったとしても、交付税、固定資産税は発生するので、税投入の回収は造成した土地の転貸益のみで回収年数を計算すべきで、交付税、固定資産税を計算根拠にするのは不適切です。その場合はいったい何年で回収するのでしょうか。
- ③ 現在深谷市は50億円を投入するとしていますが、今後警察との交通、防犯、青少年対策などの協議、国道県道を含む道路改良、秩父鉄道改良、周辺排水路関係の協議などの結果、税金の追加投入が全くないと言い切れるのかどうか。また、誘致した深谷市として原因者の立場で、国、県を含む関係諸団体から追加的継続的費用を求められることはないのでしょうか。

他にも、④市財政への悪影響、⑤地元商業への悪影響、⑥周辺住民生活への悪影響など、解決の道筋が示されていない多くの問題点がありますが、以上の不透明な部分について市から適正な回答がないまま、議会が行政のこのような多額の税金の使途を全面的に了承するならば、チェック機関としてその役割を十分果たしていないと考えざるを得ません。

議員各位におかれましては、上記の不透明な事柄の正確詳細な報告、納得できる回答を得られないままであれば、税投入に賛成であれ反対であれ、最終責任を市民に委ねるのは自然の流れであり、当会の提出する本条例案に賛成いただき、民意を明らかにするための市民の政治参加への道を開けていただきますよう心から期待し、重ねてお願い申し上げます。

以上のとおり、このたびの税金投入の妥当性、透明性に私たちは大きな疑問と強い不信を持っています。そして何よりも受益者負担という大原則に、市行政自らがその公平性を損なおうとしている姿勢にこそ市民に問うべき本質的な問題があるのです。

市議会の皆さまが市民と一体となり、市行政に対し、再度考え直し主権者たる市民の声を聞くべしと、賢明で公正なご判断を下されますよう、心から幾重にもお願い申し上げます。

追伸 なお本書面につきましては、市民の皆さまへのお願いの書面として使用させていただきますことでもありますので、申し添えます。